

# 私たちが展望する これからの 日本と北海道

政権交代から3年。 “日本が変わる” という期待は、その多くが幻滅に変わってしまいました。

しかし、3.11東日本大震災と福島原発事故は、日本がどうあるべきかをこれまで以上に厳しく問いかけています。めざすべきは「命を最優先し互いに支え合う社会」「雇用と生活を保障し合う社会」「環境に配慮した持続可能な安心社会」です。

混迷を深める政治の中で、もう一度“市民が主役”を取り戻し、これからの社会と政治を展望するために何ができるか、多くの皆さんと考えあいたいと思います。

**日時** 2012年8月11日(土) 13時~15時

**場所** 自治労会館5階ホール(札幌市北区北6西7)

## 講演

■ 真の「社会保障と税の一体改革」とは  
—あるべき理念と展望—

北海道大学大学院法学研究科教授

宮本 太郎 さん



■ 脱原発時代の北海道のポテンシャル  
—グリーンエコノミーと北海道経済の活性化—

北海道大学大学院経済学研究科教授

吉田 文和 さん



■ 政権交代とは何だったのか

—市民・地域主権の再興を—

北海道大学大学院法学研究科教授

山口 二郎 さん



呼びかけ人

50音順

小檜山 博

(作家)

鈴木 亨

(北海道グリーンファンド理事長)

榎嶺 レイ

(写真家・医師)

山口 二郎

(北海道大学大学院教授)

我妻 武

(札幌障害者支援センターライフ理事長)

# 「市民が主役」の政治を 取り戻す道民フォーラム

参加無料

お問い合わせは090-2160-9162